



芸劇リサイタル・シリーズ
「VS」 Vol.9 務川慧悟×ナターリア・ミルステイン
小林愛実 ピアノ・リサイタル

Geigeki Recital series “VS” Vol.9 Mukawa Keigo × Nathalia Milstein
Kobayashi Aimi Piano Recital

©Shuhei Tsunekawa

充実した活動が続けるピアニストたち 変化と新たな可能性を聴く

高い実力で評価されるピアニストを招き、彼らが今届けたい音楽を聴く、東京芸術劇場のリサイタル・シリーズ。2024年度も、今注目を集める若手による2公演が用意されている。

世界でその音楽性が認められ、キャリアを積み重ねる若い日本人ピアニストたち。今年度も芸劇リサイタルシリーズには、今彼らが届けたいものを披露する、楽しみな公演が並ぶ。

ソリストとして活躍する二人のピアニストがステージに立ち、デュオとしていつもとは一味違った一面を見せる人気の「VS」シリーズには、独自の感性で音楽を深め続ける気鋭、務川慧悟が登場。務川たつての希望で指名したという共演者、ナターリア・ミルステインと、ストラヴィ

ンスキーの三大バレエ「春の祭典」「火の鳥」「ペトルーシュカ」のピアノ編曲版を演奏する。

フランスでロシア人音楽家の家庭に育ったミルステインは、2015年ダブリン国際ピアノコンクール優勝の実力を持ち、務川が「今後フランスなどで第一線で活動していこう」と期待を寄せる存在。ストラヴィンスキーのバレエを取り上げてほしいという主催者からのリクエストを受け、「ロシア人であるストラヴィンスキーがパリ公演のために書いた」点がミルステイン

のバックグラウンドと重なること、「彼女の演奏スタイルが作品にぴったりだと感じた」ことなどから、共演者に選んだ。

日仏を拠点に活躍する務川は最近、「将来はヨーロッパのすばらしい演奏家を自分の企画で日本の聴衆に紹介していきたい」と考えているそう。今回はまさに、初来日となるミルステインの音楽を我々に聴かせてくれるということで、彼がこれから取り組みたい活動の第一歩ともいえる。



Mukawa Keigo

©Yuji Ueno



Nathalia Milstein

©Lyodoh Kaneko

Kobayashi Aimi



務川によれば、ミルステインの魅力は「バルトークやプロコフィエフのように“野蛮的”な面が目立つこともある音楽を、野蛮さやキャラクターの強さを残しながらも洗練された感覚をもって生き生きと奏で、曲に生命を与えられるところ」「技術の下地がしっかりあるうえに、曲の“性格”を存分に生かすフランス的姿勢が乗せられているところ」にある。実際に共演するのは初めてということなので、務川も目の前で生み出される共演者の音に刺激を受けながら、これまでに見せてくれるかもしれない。

2021年にショパン国際ピアノコンクールで入賞し、そのすぐ後、共に入賞した反田恭平と「VS」の記念すべきVol.1に出演した小林愛実。1年後

に二人が結婚を発表した際、この公演を聴いていた方は、より一層の祝福の気持ちを感じたことだろう。昨年には出産し、休養を経て、年末に舞台復帰。「2024年は子育てと演奏活動の両立を目標にがんばりたい」と、精力的に演奏活動を行う。

そんな小林が、初めてソロリサイタルで東京芸術劇場の舞台に立つ。届けるのは、シューベルト、モーツァルト、シューマン、ショパンという、彼女が時間をかけて向き合ってきた作曲家たちだ。

出産後、演奏活動を再開してから、「多くの方から、音楽が変わった、あたたかくなったという声をかけていただく」と小林は言う。10代でデビューして活躍する彼女のこころなので、子ども

の頃から聴き続けている方なら、その変化を耳にすればより感慨深いだろう。

シューマン「子供の情景」のようなレパートリーへの想いは明らかに変化しているだろうし、ショパン「アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ」のような度々演奏してきた名曲も、これまでとは違ったアプローチ、感情表現で聴かせてくれるに違いない。みずみずしい音色はそのままに、母になった新しい小林愛実の音楽を確かめる機会となる。

若き日本人ピアニストとして世界で認められ、新しい可能性、音楽の広がり求めて活動し続ける二人。今の彼らが向かう方向、あたためている音楽を知ることができる時間に期待しよう。

取材・文：高坂はる香（音楽ライター）



芸劇リサイタル・シリーズ

「VS」 Vol.9 務川慧悟×ナターリア・ミルステイン
6月18日(※) 19:00開演 コンサートホール 詳細はP11へ

出演：務川慧悟、ナターリア・ミルステイン(ピアノ)
曲目：ストラヴィンスキー／「春の祭典」、「ペトルーシュカ」、「火の鳥」

小林愛実 ピアノ・リサイタル
7月10日(※) 19:00開演 コンサートホール 詳細はHPへ

出演：小林愛実(ピアノ)
曲目：シューベルト／即興曲集 D935
シューマン／子供の情景 Op.15
ショパン／アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 Op.22 ほか